

お元気ですか

つかじさちの

フレッシュ便

第1056号

日本共産党高知県議会活動報告

2022年12月18日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)



12月県議会で質問に立ちました。

抗原キット配布再開を 塚地氏 医療・流通逼迫すれば 知事



塚地佐智氏 (共産、高知市)

塚地氏 新型コロナの感染「第7波」の時と同様に、希望者に抗原検査キットを配布するべきだ。

浜田知事 今夏の第7波では、全国的な感染急拡大にキットの供給が追いつかなかったことから無料配布した。その後、流通が改善されて入手しやすくなったため無料配布は休止している。今後、発熱外来や流通が逼迫し、自らキットで検査することが難しくなった場合には再開したい。経済的に購入が困難な人が発熱などの症状が出た場合には、速やかに医療機関を受診してもらいたい。

塚地氏 本年度開校した県立日高特別支援学校高知しん

ほんまち分校(高知市)の入学者は、高等部は13人だったが、中学部はゼロだった。

長岡幹泰教育長 専門的職業教育ではなく、基礎的職業教育を行う中学部から学べる学校にしたい、との思いから現在の学部構成にした。求める生徒像を「就労を目指す生徒」としたが、これは小学校卒業時点の児童の思いや状態ではなく、あくまで高等部の生徒をイメージしたものだ。今後は児童生徒や保護者に、この生徒像がより具体的に伝わるよう補足の説明を加えるなど改善を図る。入学の可否を判断する高知市教委とは、入学を希望する生徒の状態などについて十分協議したい。



統一協会被害者・橋田達夫さんと知事との面談

記者会見に同席

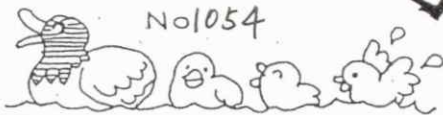
12月7日、「被害者の声を知事にも直接伝えたい」との橋田さんの要望を受け、県民の会と日本共産党県議団として知事に面談を申し入れた。この場が設定できま

述べました。 塚地知事は、橋田さんの訴えに対し、「絶対な体験に言葉もありません。二度とこのような被害を繰り返してはなりません」と今後の方針について決意を述べました。

高知新聞
12月4日
付

なるがも日記

No1054



12月議会の本会議質問が終りほっと一見ですが、今回は、上記の質問以外にも、コロナ禍の学生支援、県がガイドラインで「設置を避けるべきエネルギーに定めている所にアレシを定める所にメガソーラーを開発、設置を県が許可した問題なども取り上げ、こいも高知新聞の社会面で報じられました。上の記事で下線と引いている所は、嬉しい回答でした。こんな時議員のやりがいを感じます。

12月の無料法律・生活よさず相談会

12月21日(木) 18時~ 神田真希 近藤恭典 弁護士 池田西博 議員 7カ所巡回